

## 学校経営計画 平成 31 年度 重点課題

<p>学習指導</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 目標の再確認と共有 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年の大学入試改革、指導要領改訂を見据え、中高の6年間を通じて基礎学力の習得とともに受験学力を自らが意欲的に向上させることで自己実現できる生徒の育成。</li> </ul> </li> <li>2. 現状分析による改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケート、保護者アンケートの検証、及び、定期考査、模試の結果検証による授業等の改善とともに学力向上を目指した定期考査、学習評価の改善を目指す。</li> </ul> </li> <li>3. 指導力の向上を目指した研修等の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学習に対するモチベーションを向上させ、「自ら学ぶ姿勢」を重視するという観点で、全ての教員が質の高い授業を実現できるように教員相互の授業観察を実施するなど研修研究を行う。</li> </ul> </li> <li>4. 学力向上の方法、手段の設定 (妻中サクセス) <ul style="list-style-type: none"> <li>・21世紀型のアクティブラーニング授業を、本校独自のシステムとして開発する。</li> <li>・授業展開、課題、補習、教材等の点検改善を行う。</li> <li>・これからの社会に必要とされる学力を身につけさせるために、教員は研修に力を注ぐとともに、より質の高い授業展開を目指して、電子黒板・タブレットPCなどのICTを充分活用した指導法を研究し、実践し、改善を行う。</li> </ul> </li> <li>5. 生徒のモチベーション向上 (妻中サクセス) <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の興味を喚起する授業の研究、実施。</li> <li>・生徒が自らの学習意欲を高める仕組みとして、英語4技能などにおいて、目標値を設定して各種検定の取得に向けた計画を主体的に取り組ませるなどの方法を構築する。</li> </ul> </li> <li>6. 組織運営の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上達成のためのPDCAを作成、共有、運営できる組織への改善。</li> </ul> </li> <li>7. 外国語活用能力の向上／グローバル教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界に通用する「実践的英語力」を目指した教育内容を深めると共に、その成果の検証から改善策を実行する。</li> </ul> </li> <li>8. グローバル教育の推進向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校全体のグローバル教育を推進向上させるため、各コースの目標値を設定し、作成した教育プログラムを計画通りに推進する。</li> </ul> </li> </ol>
<p>進路指導</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生徒の進路意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の社会に生きる生徒の進路意識を向上させ、発達段階に応じた進路指導を、全学年の支援体制で推進する。</li> </ul> </li> <li>2. 大学入試改革に備えた研究を行い、先進的で的確な進路指導を進める。</li> <li>3. 生徒及び保護者対象の進路ガイダンスの定期的な実施。</li> </ol>

生徒指導	<p>1. <b>SGH</b>、ユネスコスクールに学ぶ生徒像を目指した生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校が <b>SGH</b> やユネスコスクールであることの趣旨を活かし、本校に学び育つ生徒が広い視野と教養を持って、今後の持続発展を目指した社会に貢献できるよう、日常生活指導や種々の行事の目的目標を全校で理解共有実践を行う。</li> </ul> <p>2. 生活の基本である「7つのルール」の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来社会人として必要な生活の基本である「7つのルール」を徹底する。全教員による丁寧な対面教育を心がけ、全ての生徒が「あいさつ」「校内美化」「遅刻防止」等の基本的生活習慣の基礎をしっかりと身につけさせ、人間力が学力と繋がることを意識して生徒指導を行う。</li> </ul> <p>3. 生徒の発達段階に対応した各種行事の配置、内容の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動、道徳教育、キャリア教育、ピア・サポート等のすべての教育活動を生徒の発達段階に対応できるよう、その配置や内容を改善する。</li> </ul>
組織体制	<p>1. 中高一貫基本シラバスの改訂と組織改善を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の発達段階に応じた本校の教育シラバスの改訂を行い、目標達成ルーブリックの作成を目指す。</li> <li>・校務分掌の6部署(企画室、教務、生徒、進路、入試広報、国際)及び常設委員会、特別委員会について、教育目標に基づいて担当内容を検討し、より効率的に実効的に運営できるよう改善する。</li> </ul> <p>2. 学校経営計画及び各部署運営計画を策定し、学校評価を実施することを通して、学校の自律的な改善と教育活動の質的向上を図る。</p> <p>3. 海外大学進学、海外留学及び海外研修、海外交流について、その取り組みについて全教員が理解共有するとともに、事務所と業務内容の連携を図る。</p> <p>4. 経験年数に応じた教職員研修の整備と全体研修の内容と配置の検討</p> <p>5. 部活動のあり方と働き方改革の指針規定の完成</p>
教育環境の充実	<p>1. <b>SGH</b> アソシエイト最終年度、ユネスコスクール加盟に向けての準備</p> <p>2. 平成32年度体育館耐震工事に向けた準備</p> <p>3. 校内照明 <b>LED</b> 化工事</p> <p>4. 校内防犯カメラ設置の再検討</p> <p>5. 年間を通じた危機管理体制の点検</p>
その他	